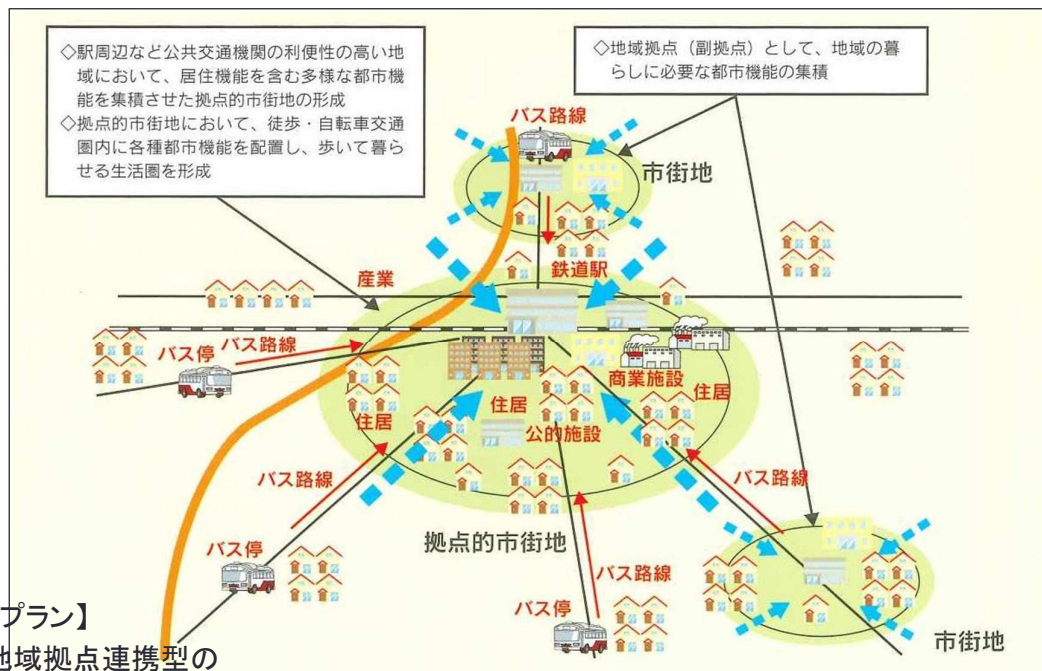


# 佐賀市における 地域内交通のあり方検討について



## 1 佐賀市公共交通ビジョンの基本理念

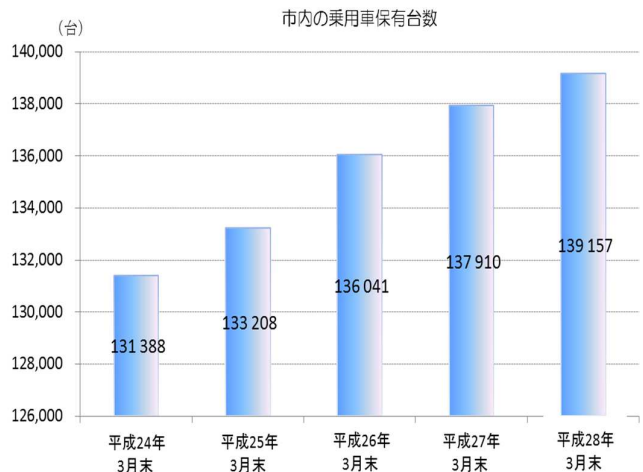
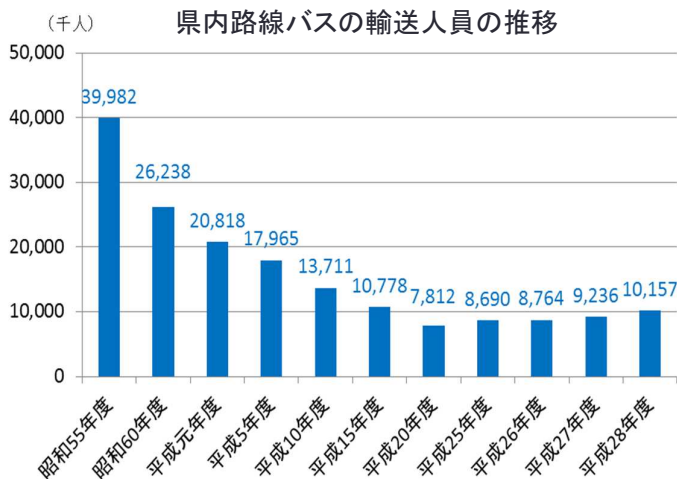
- 人と環境にやさしい公共交通を活かしたコンパクトなまちづくりの推進
- みんなで守り育てる快適で利用しやすい公共交通の構築



【都市計画マスタープラン】  
都市機能集約型・地域拠点連携型の  
市街地イメージ

## 2 公共交通を取りまく状況

- 人口減少、少子高齢化
- 車社会の進展
- 運転免許証自主返納者の増加
- 運転士の不足
- 路線バス利用者の減少とバス事業者の厳しい経営状況



2

## 3 佐賀市公共交通の現状、課題

- 本市では、路線バスを軸とした公共交通網が一定程度構築され、市中心部や南部地域には、タクシー事業者が複数存在している。
- 高齢者の移動にはバス、タクシーだけでは市民ニーズに応えられない旨の意見がある。(バス停までの移動が困難との意見など)
- 地域の機運が高まらない状態で運行しても乗ってもらえない一方、一度運行を開始するとなかなか運行をやめられない問題がある。
- 路線バス事業、タクシー事業いずれも利用者の減少や運転士不足などにより経営状況は依然厳しい。

3

## 4 現状、課題を踏まえた政策実現に向けた取組の方向性

○公共交通軸としての路線バスを維持確保しながら、「佐賀市公共交通ビジョン」の計画期間満了を見据え、次のように進める。

### ①路線バス利用促進の取組

生産性向上のための利用促進策を継続、強化することで、拠点を結ぶ幹線を維持する。

### ②地域内交通のあり方検討

日常生活の移動手段を確保に向け、地域内交通のあり方を検討する。

※生産性の向上……地方公共団体とバス事業者が連携し、バス路線の再編や観光利用の促進等の生産性向上策による収支改善が求められている。  
(H29.6国土交通省通知)

※佐賀市公共交通ビジョン……計画期間は、平成23年度～平成32年度の10年間

4

## 5 路線バス利用促進の取組

**ターゲット毎に複数の施策をバス事業者と連携して**行なうことで利用を促進し、路線の生産性を向上させる。

### ①路線バス誘客事業費補助

#### 目的

長距離通学し、バス利用の見込める**高校生**がバスに乗るきっかけをつくる。

#### 事業内容

- ・市内の高校に通う全生徒に**バスお試し券**付チラシを配布  
※150円券×2枚  
※150円のうち100円を、実績に応じ市が事業者へ補助
- ・利用実績やアンケートの集約結果を事業者と共有し活用することで、実施後の利用促進につなげる  
※市の補助額縮小も目指す

### ②路線バス広報番組制作委託

#### 目的

広報番組を制作し、路線バスや沿線の魅力を**市民に広く**伝える

#### 事業内容

- ・市が**ぶんぶんTV**にて**広報番組**を作成  
※市内のバス路線を対象（民間バス路線含む）  
※10分番組×12本  
※1日1本、毎日放送
- ・事業者には沿線情報提供、出演、車中での撮影協力を依頼

### ③温泉企画券利用促進チラシ作成

#### 目的

バスを利用する可能性が高い**観光客**に対し、バス利用を働きかける

#### 事業内容

- ・昭和バスが、**古湯・熊の川温泉入浴券と路線バス往復乗車券をセットにした企画きっぷ**を検討
- ・市は、企画きっぷを告知するチラシ（多言語表記）を作成し事業者とともにPRする
- ・観光パンフレット等に路線バスの情報を掲載する

5

## 6—① 地域内交通のあり方検討案

### ○目的

公共交通が不便な地域をエリア分けし、路線バスを軸としつつ、その地域において必要な日常生活の移動手段を確保するため、地域内交通のあり方に係る調査・研究を実施する。

### ○検討にあたって考慮する点

- ・公共交通軸としての路線バスの維持確保
- ・路線バスのダイヤ改正、路線、便数等の見直し及びこれに伴う市の公共交通網への影響
- ・タクシー事業者との競合、既存のバス路線への影響
- ・公共交通維持のための公費投入(国庫補助要件との整合など財源確保)

6

## 6—② 工程イメージ(地域内交通のあり方検討)

○佐賀市地域公共交通会議での協議を経ながら進める。

H30

- ①公共交通が不便な地域(公共交通不便地域)の洗い出し、エリア分け
- ・人口密度、高齢化率、地理的要因、路線バス利便性、公共施設の配置などを要素として抽出

H30

②洗い出した交通不便地域における移動手段確保策の整理

- ・路線バスのルート変更や、コミュニティバスやデマンドタクシーなど多様な運行形態の特徴や検討課題を整理

7

### ③地域を主体として移動手段確保策を検討・導入するための 仕組づくり

- ・課題解決の方向性を検討(行政サービスの水準の考え方など)
- ・地域を主体として検討・導入に取り組むための仕組を構築(市との役割分担や経費分担のあり方、交通事業者との連携など)
- ・地域での導入プロセスのガイドライン化

次期交通ビジョンへの反映を検討しながら、これらの取組について、おおむね2年間をめどに進めていきたい。